



ごみを減らすにはどうしたらいいの？

キーワードは5R

普段の生活のなかで意識し続けることが大切です

5Rとは、英語のRから始まる5つの行動のこと。資源を大切にすることでごみを減らすことにつながる行動です。どれも簡単なことばかりですが、つい忘れてしまうことも。一人ひとりの心がけが大切です。

リデュース (Reduce)

使う資源や、ごみの量を少なくすること

ものを買い過ぎない、
食べ残さない、
詰め替え製品を使う



リユース (Reuse)

ものを繰り返し使うこと

着なくなった服を
誰かにあげて
使ってもらう



リサイクル (Recycle)

資源として再利用すること

ごみを正しく分別して
資源として再利用する



リフューズ (Refuse)

ごみの元となるものを断ること

レジ袋を断って
マイバッグを使う、
いらぬものはもらわない



リペア (Repair)

修理して使う

壊れてもすぐに捨てず
修理して使う



「まあいいや」って
考えないで、
続けていく気持ちが
大切だね。



海を汚さないために、他に気がつけた方がいいことって？

豊かな地球を守るために、みんなで取り組もう！

家庭から流す生活排水にも気をつけましょう

海のごみ以外に、水質の汚染の問題もあります。かつては工場排水が一番の原因でしたが、法律の規制などがすすみ、今は水を汚す原因の約70%が家庭から流している生活排水なのです。いちど汚れてしまった水をきれいな水に回復させるのは、とても大変。台所の排水溝には食べ残しや油を捨てない、シャンプーや洗剤などを使いすぎないようにするなど、小さな心がけが大切です。



海のごみって どうすれば減らせるの？

みんなで考えよう

メリ夫

三河湾出身、1歳になったばかりの
スナメリの男子の子。

テレビ愛知

キレイな海に
もどしたいメリ〜。

リードくん

11月21日生まれ、元気な鷺のいたずらっ子。好きな食べ物は手羽先。



カイオー

シャチがモデル。2001年11月1日に生まれました。

名古屋港水族館

シーホースくん

おっとりめで真面目なタツノオトシゴ。趣味はダンス(初心者)。



グランパスくん

10月3日生まれ。シャチだけど、陸での生活が長いので泳ぎ方を忘れた。



最近海のごみが
気になるんだわ。

ディー・ディー(DD)

少しおっちょこちょいだけど、優しくおっとりした性格のシロイルカ。ダンスの練習中!



しばたさん

八千代エンジニアリングという会社で海や川のごみ問題について取り組んでいます。



海のごみについて、みんなで学びましょう!

海にごみがあふれて困っているなかまがいるよ。どうすればいいのかな?





海のごみってどんなものがあるの？



プラスチックごみが一番多く、やっかいです

海のごみで一番多いのは、プラスチックごみ。毎年、約800万トンものごみが海洋に流出しているといわれています。プラスチックごみは素材の特性上、海中で留まっている期間が長く、中には400年以上上海を漂うものもあるそうです。他に、木材や葉っぱなどの自然物、ガラス、金属などがあります。このままでは、2050年には海にいる魚よりごみの方が多くなるといわれるほど深刻化しています。

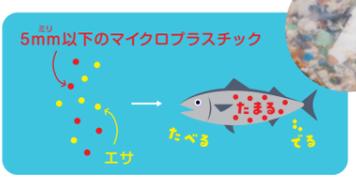
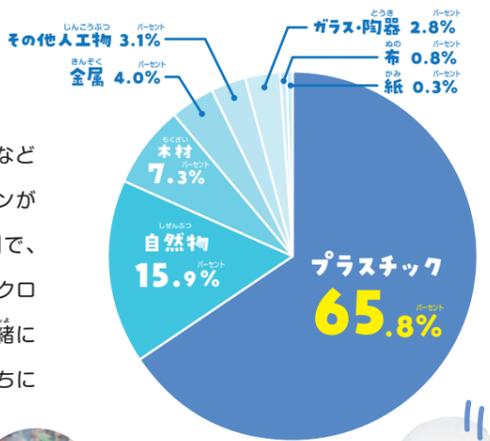
年間 **800万トン** のプラスチックごみ = **ジャンボジェット機 5万機** 分の **ぼくの体重の何倍なんだろう…?**



一番多い「プラスチックごみ」ってどんなもの？

身のまわりにたくさんある、食品や飲料の容器などがあります

私たちのまわりでよく見かける、ペットボトルやレジ袋、食品が入っていた空き容器などです。環境省の調べによると、毎年海に流れ出るプラスチックごみのうち、2~6万トンが日本から発生したものだといわれています。海の生物たちへの影響が特に深刻で、例えばウミガメはレジ袋を好物のクラゲと間違えて食べてしまうことが。また、「マイクロプラスチック」と呼ばれている、細くなったプラスチックの粒を魚たちがエサと一緒に食べてしまうこともあります。その魚を人間が獲って食べている…と思うと、私たちにとても大きな問題になるかもしれません。



プラスチックは食べてもおいしくないメリ〜。

名古屋港水族館でくわしく学べるよ！



海の問題についての展示室「エコ・アクアリウム」

海の問題やプラスチックごみと生物の関係などを展示解説しています。海岸に漂着したウミガメの胃の中から取り出したプラスチックごみや、愛知県内の海岸で採集したマイクロプラスチックの実物も顕微鏡で観察することができます。名古屋港水族館で海の生き物たちとふれあった後は、海の問題についても考えてみましょう。



イルカパフォーマンスをぜひ間近で見て楽しんでね！



どこで、どんなごみが生まれているの？

山、海、市街地それぞれでごみの種類に特徴があります

ごみは基本的に人間が出すものですが、場所によってごみの種類が変わってきます。畑や田んぼが多い自然豊かなエリアでは、農業で使われる道具や肥料の袋などがごみに。海の周辺では漁業で使う網や釣り糸などがごみに。市街地ではペットボトルや菓子の空き袋、最近ではマスクのごみが目立ちます。どれも元々は私たちの生活に必要なものなので、海へ流れていってしまわないようにしっかりと捨てることや、ごみを見つけたら拾うことが大切です。



どうして陸上のごみが海へいっちゃうの？

街で捨てられたごみが、川などから流れ込みます

海のごみは、大半が陸上からやってきます。街で捨てられたごみが水路や川に流れだし、やがて海へとたどり着くのです。ごみは大きく分けて、「投棄・ほい捨て系」と「漏洩系」の2つに分類されます。「投棄・ほい捨て系」とは、ごみ箱以外の場所(路上や川、水路など)に捨てられたごみのこと。「漏洩系」とは何らかの原因でごみ箱からあふれ出てしまったごみのこと。モラルの低下が原因なこともあるけれど、ごみ収集所のごみ袋をカラスが破ってしまうなど社会的な仕組みが原因でごみが出てしまっていることもあります。



ごみ流出の原因例

ごみ収集所にあるごみ袋をカラスなどが破り、ごみが散乱して流れ出てしまうことがあります



ごみ箱に捨てたごみの収集がおいつかず、あふれ出てしまうことがあります



RIADってなあに？

RIADとは、カメラで撮影した川の動画から、プラスチックごみが流れている量をはかることができるシステムのこと。海の問題は、その8割が川から海へと入りこんでいますが、RIADを使えばどのくらいの量がどの川から入りこんでいるのかがわかるようになります。



川を流れるごみの量が分かれば、掃除などの取り組みで、ごみを減らせるね。